

DxH900 における単球サイズ分布幅の検討 第4報

—MDWから得られたこと—

◎桐石 瑞歩¹⁾、下川 浩克¹⁾、高橋 和也¹⁾、木南 有希¹⁾、原田 いおり¹⁾、廣田 智美¹⁾、齊田 奈々¹⁾、新靱 茂樹¹⁾
医療法人 輝栄会 福岡輝栄会病院¹⁾

【はじめに】単球サイズ分布幅 Monocyte Distribution Width (MDW) は、欧米では、敗血症の早期診断バイオマーカーとして有用との報告がある。しかし、国内のMDWの検討報告は少ない。当院の今までの報告では、細菌感染だけではなくウイルス感染及び敗血症の発見に有用と報告させて頂いている。作年の本学会において、第3報を報告し、その際に自施設でのCut Off値を求めてはいかがとの宿題を頂き検討を行いましたので今回、報告致す。

【方法】当院検査科に血算測定依頼のあったEDTA2K加静脈血を対象とし、UniCel DxH900（ベックマン・コールター株式会社）にてCBC、Diffを測定し得られたMDWについて、以下の項目のROC解析を実施した。①qSOFAスコア2点以上とMDW：患者情報からqSOFAスコアが算出可能で、算出前後の血算の依頼のあった572件を用いてqSOFAスコア2点以上と0～1点について②細菌検査とMDW：細菌検査の依頼がありその前日か当日に血算の依頼のあった95件を対象とし、何らかの細菌が検出された陽性と陰性について。③血液培養とMDW：血液培養の依頼が

ありその前日か当日に血算の依頼のあった90件を対象とし何らかの細菌が検出された陽性と陰性について。以上について、ROC曲線を用いて解析を行った。尚、統計解析にはEZRを用いた。

【結果】①qSOFAスコア2点以上とMDW：AUC=0.72、Cut Off21.67、特異度73.2%、感度61.1%。②細菌検査とMDW：AUC=0.574、Cut Off21.92、特異度67.9%、感度51.6%。③血液培養とMDW：AUC=0.72、Cut Off25.8、特異度75.4%、感度71.4%。

【まとめ】qSOFAスコアの場合Cut Offは21.67。血液培養の場合のCut Offは、25.8となった。経験上MDWの値が上昇すると患者の状態が悪い事が多かった。MDWはEDTA採血によりCBCとDIFFの依頼があれば、1分程度で結果が分かるため、有用であると考える。

連絡先：092-681-3115